

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



平成 30 年 12 月  
海老名市立海老名小学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

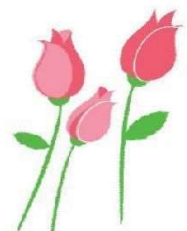
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A (主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 基本的な知識について概ね理解しています。
- 相手や目的に応じて、自分が伝えたいことについて、筋道を立てて考えることができます。
- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解して、使うことができます。
- 得られた情報の中から目的や意図に応じて適切な内容を選択したり、関係づけて捉えたりすることができます。

### 《努力を要する所》

- 文中における主語や述語のつながりなどについて注意して、文を正しく書くことにやや課題があります。
- 文や文章の中で既習の漢字を正しく使うことに、やや課題があります。

## 国語 B (主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 「話すこと・聞くこと」では、計画的な話し合いを行うために、それぞれの立場の役割について理解することができます。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることができます。

### 《努力を要する所》

- 目的や意図に応じて、文章の表現を工夫して、推薦する文章を書くことに課題があります。
- 文章全体の構成を考え、必要な内容を引用し、決められた条件に合わせて自分の考えをまとめることに課題があります。

## これまでの取組から

- 道徳科や各教科での学習活動を通して、自分の考えをノートに表現したり、発表したりしようと、意欲的に取り組む姿が育ってきています。
- 文の構成について意識できるよう、目的に応じて、本や文章を比べて読むことや自分の考えを明確にできるように指導してきました。

## 今後の具体的な取組について

- 自分の考えを豊かに表現できるように、引き続き横断的な教科の指導を行っていきます。
- 複数の資料を関連づけて書いたり、字数制限を設けて簡潔に書いたりする学習活動を積極的に行っていきます。



# 算数に関する調査結果

## 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 算数全般において基本的な知識を概ね理解しており、正答率も高いです。
- 異種の二つの量の関係として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解しています。
- 十進位取り記数法で表された数の大小について理解しています。
- 問題場面を的確に捉え、数量の関係や数直線等に表すことができています。
- 目的に応じて資料を分類整理し、特徴を調べることに優れています。

《努力を要する所》

- 円周率の意味について、理解にやや課題があります。

## 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 図形の構成要素や性質を基に図形を判断することや、問題解決の方法を数学的に表現することに優れています。
- 示された数量を関連づけて論理的に考察し、判断の理由を根拠を明確にして説明する力が優れています。
- 示された考えを解釈し、数量の関係に着目して整理することに優れています。

《努力を要する所》

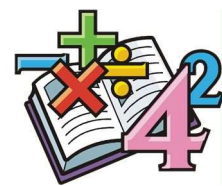
- 規則性を解釈し、それを基に条件に合う事柄について、適切に判断する力に課題があります。

## これまでの取組から

- 四則混合の計算等、基本的な知識を活用し、技能の反復学習を継続してきたことが、学習内容の定着につながっています。
- 児童が筋道を立てて考えを説明し、互いに考えを論理的に深めていくことにより、数学的に簡潔、明瞭、的確に表現する力が身につけてきています。

## 今後の具体的な取組について

- 問題に直面した際、既習事項を基にし、事柄を観察したり試行錯誤したりしながら、結果や方法の見通しがもてる学習活動の工夫を進めていきます。
- 互いに自分の考えを伝え合うことにより、新たな事柄に気づき、問題解決を図る学習の展開を今後もさらに進めていきます。



## 理科に関する調査結果

《優れている所》

- 鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめが、どのような視点でまとめた内容なのかを選ぶことができます。
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを、実際の回路に適応することができます。
- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、実験の計画を立てることができます。

《努力を要する所》

- 土地の浸食について、一度に流す水の量と棒の様子の実験結果を基に考察し、その内容を記述することに課題があります。
- ろ過の各操作の意味を捉えることに課題があります。

### これまでの取組から

- 問題解決的な学習を進め、「予想—実験—結果—考察」の学習の流れの中で、科学的な思考力がついてきました。
- 観察・実験では、器具の適切な取扱い方や操作の意味などを捉える指導により知識の定着につながっています。

### 今後の具体的な取組について

- 今後も学習を通して得た知識を、日常生活の中で活用できるように取り組んでいきます。
- 方位については、他教科の学習とも関連させて、生活している場所での方位をとらえ、太陽の動きが理解できるよう、知識の定着を図っていきます。



# 児童質問紙の結果より

## 学習について

《よかった所》

- 「算数の勉強が好き」「算数の勉強は大切だと思う」「算数の授業の内容はよく分かる」と答える児童が全国平均より多く、算数の学習を楽しみながら意欲的に取り組んでいることが分かります。
- 「理科の勉強は好き」と答えている児童が全国平均より大幅に多く、「観察や実験を行うことが好き」と答える児童も多いことから、理科の学習に意欲的で体験活動に積極的に取り組んでいることが分かります。
- 今まで受けた授業の中で、課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと考える児童が多いことが分かります。

《課題と思われる所》

- 家では自ら計画を立てて勉強をしたり、学校の授業の予習・復習をしたりする児童の割合が全国平均より低い傾向にあります。

## 生活について

《よかった所》

- 自分にはよいところがあり、先生によいところを認めてもらっていると感じている児童の割合が全国平均より高いです。
- 将来の夢や目標があり、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多いです。
- 学校のきまりや約束を守ることを意識して生活している児童が多いです。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童の割合が高いです。

《課題と思われる所》

- 生活習慣面では、毎日同じくらいの時刻に寝ている児童の割合がやや低い傾向にあり、睡眠時間の取り方に課題があります。



## これまでの取組から

- 規範意識の高まりが見られることは、本校の児童の大きな特徴です。「挨拶運動」や「えびなっ子の約束」をもとに、保護者・地域の方々の協力を得て進めてきたことが反映していると考えられます。今後も児童一人ひとりの理解を深めた指導・支援に努めていきます。
- 本校では、豊かな心を育む道徳の研究に取り組んでいます。朝会や道徳の授業など様々な場面を通じて、いじめについて考える機会を設けたことが、いじめはいけないという意識に繋がっていると考えます。今後も引き続き取り組んでいきます。

## 今後の具体的な取組について

- 児童一人ひとりの意欲を大切に、認め、褒め、励ましを行うことで今後も児童の前向きな心を育てていきます。
- 「総合的な学習の時間」や「生活科」等の活動を通して、地域社会に所属しているという意識を高めると共に、地域の活動・行事を学校便り等で伝え、参加を積極的に促していきます。



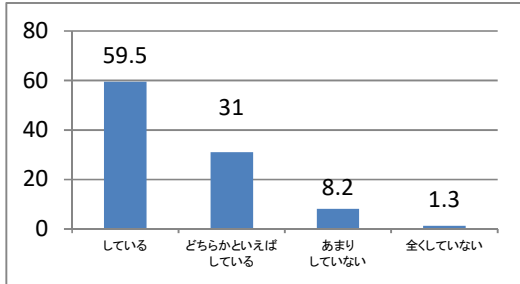
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい5つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

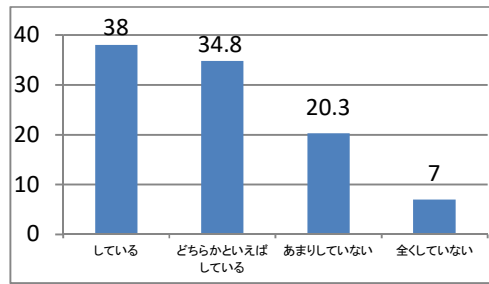
## 1 「早寝・早起き・朝ご飯」を続けましょう。

起床時刻に比べて、就寝時刻にばらつきがあるようです。就寝前の過ごし方を見直してみましょう。「早寝・早起き・朝ご飯」等、規則正しい生活習慣は、学習意欲・体力・気力の向上につながります。

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



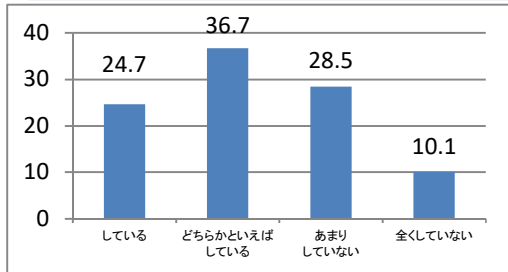
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



## 2 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

宿題の他に、自主的に授業の予習・復習をすることで学びが定着し、学力の向上につながります。

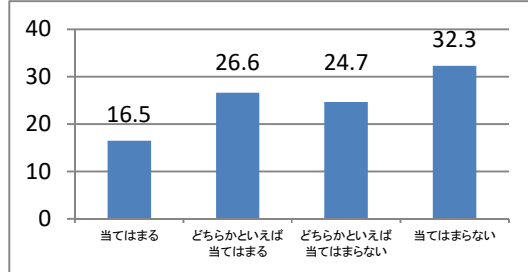
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。



## 3 地域の方々とのつながりを大切にしましょう。

子どもたちは地域の中で育ちます。地域行事に参加し、交流の輪を広げていきましょう。

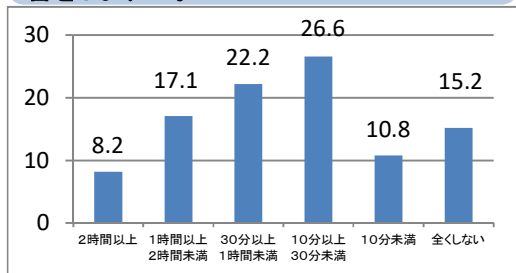
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



## 4 本に親しみましょう。読書は心の栄養です。

読書は、豊かな心と感性を育み、考える力や表現力、想像力を伸ばします。

授業以外に、普段どれくらいの時間、読書をするか。



## 5 新聞を読むことの良さを見直してみましょう。

テレビやインターネットではなく、新聞を読むことで得られる効果があると思います。

新聞を読んでいますか。

